# 令和4年度

# 事業計画書収支予算書

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

# 令和4年度

# 事業計画書

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

## 令和4年度事業計画書

自 令和4年 4月 1日

至 令和5年 3月31日

本協会は、広く一般市民に乗馬を普及するために、関係機関の協力を得て令和4年度に おいては、次の事業を行う。

#### I. 公益目的事業

#### 1. 乗馬普及関係事業

- (1) 馬とのふれあい推進事業
  - ① 大衆と馬とのふれあいタイム推進事業
  - 一般市民が馬と触れあう機会を増加させることを目的として、乗馬施設等が行 政機関、教育機関、地域社会団体等と連携して行う事業に対して、補助金を交付 する。
  - ② 被災地支援等のための馬とのふれあい活動事業 激甚災害等被災地の子どもや地域住民を対象として、乗馬体験、引き馬体験等 「馬とのふれあい」を提供する事業に補助金を交付する。

#### (2) 乗馬技能認定事業

① 乗馬技能認定

乗馬愛好者の技術向上意欲を促進し、効率的で安全な指導を行うため、乗馬技能認定審査を行い、合格者に認定証を交付する。

② ポニーライダー技能認定

中学生以下を対象として、馬との親和性を高めるため、また、乗馬技術の向上 意欲を促進するため、ポニーを使った技能認定審査を行い、合格者に認定バッジ を交付する。

#### (3) 普及乗馬大会事業

乗馬愛好者の技術の向上及び相互の交流を深めるため、全国普及乗馬大会を開催する。なお、この大会においては、ポニー並びに子どもの参加を奨励する。また、会員と共催して各地区においても普及乗馬大会を実施する。

#### (4) 乗用馬取扱講習会事業

乗馬普及を図るため、会員等の協力を得ながら一般市民並びに青少年を対象とした乗用馬の生態、飼育等の講習会を開催する。

#### (5) 乗馬普及広報事業

幅広く乗馬普及を図るため、日本語および英語にて乗馬に関する情報等をホームページに掲載するほか、様々な媒体を利用して広報に努める。なお、地区乗馬倶楽部振興会等で実施するふれあい事業や普及乗馬大会等を、地区乗馬倶楽部振興会のホームページや地域のマスコミでも積極的に広報するように依頼する。また、安全意識の周知のため、ホームページ上で情報発信を行うほか、乗馬安全マニュアルを講習会等で活用する。

#### (6) 乗馬活動保険推進事業

乗馬活動中に発生する様々なトラブルに対処するため、乗馬クラブが加入する保険に対して補助金を交付する。

- (7) 引退競走馬等の馬の多様な利活用普及推進事業
  - ① 馬の多様な利活用を推進する講習会開催等事業 馬の利活用に携わる基礎知識や技術の取得を目指した講習会を開催する。
  - ② 障がい者乗馬・ホースセラピー活動等を支援するための事業 障がい者乗馬に関するガイドラインやインストラクター制度等、より安心で きる取り組みを検討する。また、海外からの講師等を招聘し、技術や考え方等 の情報提供を行う。
  - ③ 民間における引退競走馬の利活用促進等に関する事業 乗馬等での供用活発化に向けて、適切な環境等の確認、促進施策のあり方、また、引退競走馬等の養老・余生に関する諸施策のあり方等を整理、提言等を 行う。
  - ④ 多様な馬の利活用等の取組を支援し、発展させるための事業 多様な馬の利活用に係る活動のうち、有用かつ規範的な取り組み、又は将来 的に馬関連事業の参考となるような事例、馬産業の人材養成等に資するような 取り組みを支援する。

#### 2. 施設整備関係事業

(1)優良乗馬施設認定事業

利用者の安全や周辺環境等に配慮した施設の新設や改善を奨励するため、本協会

が申請に応じて調査し、基準に適合する乗馬施設を優良乗馬施設として認定する。なお、社会情勢に応じた基準について検討する。

#### 3. 乗用馬整備関係事業

#### (1) 乗用馬防疫推進事業

乗用馬の保健衛生の充実を目的とし、本協会に登録している乗用馬について馬インフルエンザ、日本脳炎、破傷風の予防ワクチンを軽種馬防疫協議会が指定する要領に基づいて接種した馬に対して補助金を交付し、防疫体制の確立に努める。

#### (2) 在来馬乗用化推進事業

日本の在来馬を有効活用することを目的として、在来馬を保存する団体と連携を とりながら、在来馬を乗用馬として馴致・調教できる者を養成するための講習会を 実施する。また、調教された在来馬の活用を地域の行政等と協力して奨励する。

#### (3) 国産乗用馬生産育成推進事業

市民に安全な乗用馬を提供するため、関係団体と連携して、国産乗用馬生産・ 育成を奨励し、育成・調教技術の普及を図る。

・馬の流通に係る若手後継者による上場馬調教事業

生産団体において、これまで講習を行った人材の中から優れた若手後継者を活用し、生産団体から選抜された上場予定の若馬に対して、若馬の育成に関する方向性の見極めと併せて、育成に関する現地指導を受けながら育成調教技術の習得に取り組む事業を実施する。

#### 4. 乗馬指導者資格認定関係事業

一般市民に対して安全に乗馬指導を行える乗馬指導者の養成について下記の事業を行う。

#### (1) 乗馬指導者養成講習会

乗馬指導者資格取得を目指す者を対象として養成講習会を開催する。

#### (2) 乗馬指導者資格認定

乗馬指導者資格取得を目指す者を対象として、乗馬愛好者を安全に指導できる知識、技術について乗馬指導者資格認定試験を行い、合格者に認定証を交付する。

なお、この審査を行う乗馬指導者資格審査委員を対象として、実技試験の審査眼の統一を図るための研修会、試験問題内容の検討会及び乗馬指導者資格認定試験の際に記録された採点表に基づき試験委員による合否判定会議を行う。

#### (3) 乗馬指導者巡回指導

乗馬指導者資格を有している者を対象として騎乗・調教・指導技術の向上を図る ため、地区乗馬倶楽部振興会等を単位として講師を派遣し、技術指導を行う。

#### (4) 乗馬指導者競技会

乗馬指導者資格を有している者を対象として騎乗・調教技術の向上を図るため、 全国及び地域において乗馬指導者競技会を開催する。なお、この競技会に国産乗用 馬及び乗用馬に転用された競走馬の出場を奨励する。

#### (5) 乗馬指導者更新講習会

乗馬指導者資格を有している者を対象として乗馬指導の知識等のレベルアップを図るための講習会を開催する。また、会員が同講習会を開催する場合は、講師の派遣等の支援を行う。

#### Ⅱ. その他の事業

#### 1. 乗馬施設・乗用馬・乗馬指導者の登録

本協会の事業に賛同する乗馬施設、及び同乗馬施設において繋養されている普及用乗用馬、また、乗馬指導者の登録を行う。

#### 2. 施設整備関係の事業

#### (1) 乗馬施設再貸付事業

乗馬施設が乗馬普及に必要なトラクター等の動産を整備する場合に、適正な審査のうえ(公財)畜産近代化リース協会から本協会がこれらを借り受けて、乗馬施設に再貸付を行う。

#### (2) 乗馬施設利子補給事業

乗馬施設が借入金で新規に厩舎等の不動産を整備する場合に、適正な審査のうえ 借入金に対する利子の一部を補給する。ただし、平成20年度から新規の応募は受 け付けていない。

## 令和4年度

# 収支予算書

公益社団法人全国乗馬倶楽部振興協会

### 令和4年度収支予算書(損益ベース) 令和4年4月1日から令和5年3月31日

科目	予算額	前年度	増減	備考
  I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1)経常収益				
特定資產運用益	19,000	19, 000	0	
特定預金受取利息収益	19, 000	19, 000	0	
受取入会金及び会費	3, 300, 000	3, 300, 000	0	
入会金及び会員会費	3, 300, 000	3, 300, 000	0	
事業収益	112, 329, 000	115, 654, 000	-3, 325, 000	
登録料収益	44, 830, 000	44, 155, 000	675, 000	
指導者資格認定試験料収益	3, 154, 000	3, 154, 000	0	
乗馬技能認定料収益	46, 640, 000	46, 640, 000	0	
参加料収益	9, 220, 000	13, 330, 000	-4, 110, 000	
再貸付事務手数料収益	2, 200, 000	2, 090, 000	110,000	
資格認定テキスト収益	6, 285, 000	6, 285, 000	0	
受取補助金等	984, 996, 000	1, 044, 286, 000	-59, 290, 000	
乗馬普及事業助成金	975, 128, 000	1, 035, 195, 000	-60, 067, 000	
内国産馬生産奨励事業助成金	3, 448, 000	3, 555, 000	-107, 000	
スポーツ振興くじ助成金	6, 420, 000	5, 536, 000	884, 000	
雑収益	23, 000	23, 000	0	
受取利息収益	23, 000	23, 000	0	
経常収益計	1, 100, 667, 000	1, 163, 282, 000	-62, 615, 000	
(2)経常費用	1 000 704 000	1 154 119 000	F7 970 000	
事業費	1, 096, 734, 000	1, 154, 113, 000	-57, 379, 000	
役員報酬 給与手当	6, 447, 000 56, 807, 000	8, 429, 000 54, 751, 000	-1, 982, 000 2, 056, 000	
社会保険料	11, 416, 000	10, 981, 000	435, 000	
福利厚生費	925, 000	844, 000	435, 000 81, 000	
馬とのふれあい補助費	50, 281, 000	50, 281, 000	0	
乗用馬保健衛生補助費	42, 060, 000	37, 444, 000	4, 616, 000	
乗馬施設整備補助費	679, 760, 000	759, 760, 000	-80, 000, 000	
競技会奨励費及び賞品費	38, 223, 000	36, 903, 000	1, 320, 000	
会議及び講習会費	40, 394, 000	36, 840, 000	3, 554, 000	
旅費交通費	94, 210, 000	88, 125, 000	6, 085, 000	
従事員賃金	7, 840, 000	5, 829, 000	2, 011, 000	
広報費	14, 845, 000	12, 882, 000	1, 963, 000	
備品及び借料費	14, 412, 000	13, 663, 000	749, 000	
減価償却費	2, 297, 000	2, 297, 000	0	
消耗品費	1, 501, 000	1, 483, 000	18, 000	
図書印刷製本費	13, 166, 000	12, 736, 000	430, 000	
通信費	3, 808, 000	3, 683, 000	125, 000	
光熱及び水料	594, 000	594, 000	0	
役務費	4, 924, 000	4, 711, 000	213, 000	
租税公課	3, 980, 000	3, 980, 000	0	
維費	3, 940, 000	3, 452, 000	488, 000	
退職給付費用	4, 685, 000	4, 232, 000	453, 000	
賞与引当金繰入	219, 000	213, 000	6,000	
管理費	15, 361, 000	18, 070, 000	-2, 709, 000	
役員報酬	716, 000	936, 000	-220, 000	
給与手当	6, 312, 000	6, 084, 000	228, 000	
社会保険料	1, 268, 000	1, 220, 000	48, 000	

科目	予算額	前年度	増減	備考
누구니 글 사, #	100.000	0.4.000	0.000	
福利厚生費	103, 000	94, 000	9,000	
会議及び講習会費	208, 000	208, 000	0	
旅費交通費	1, 679, 000	1, 679, 000	0	
従事員賃金	246, 000	246, 000	0	
備品及び借料費	1, 061, 000	955, 000	106, 000	
減価償却費	35, 000	35, 000	0	
消耗品費	60,000	60,000	0	
図書印刷製本費	137, 000	137, 000	0	
通信費	312,000	300, 000	12,000	
光熱及び水料	66, 000	66,000	0	
<b>役務費</b>	386, 000	369, 000	17, 000	
租税公課	20,000	20,000	0	
維費	2, 208, 000	5, 166, 000	-2, 958, 000	
退職給付費用	520, 000	471, 000	49, 000	
賞与引当金繰入	24,000	24,000	0	
経常費用計	1, 112, 095, 000	1, 172, 183, 000	-60, 088, 000	
評価損益等調整前当期経常増減額	-11, 428, 000	-8, 901, 000	-2, 527, 000	
基本財産評価損益	0	0	0	
特定資産評価損益	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	11 499 000	0	Ů	
当期経常増減額	-11, 428, 000	-8, 901, 000	-2, 527, 000	
2. 経常外増減の部				
(1)経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2)経常外費用	0	U	U	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-11, 428, 000	-8, 901, 000	-2, 527, 000	
一般正味財産期首残高	230, 000, 000	220, 000, 000	10, 000, 000	
一般正味財産期末残高	218, 572, 000	211, 099, 000	7, 473, 000	
(300 ALAMA ( AAAALAMA) ind	, 3.2, 300	,	.,,	
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
Ⅲ 正味財産期末残高	218, 572, 000	211, 099, 000	7, 473, 000	

(注) 1 借入金限度額 20,000,000円 2 債務負債額 0円

令和4年度収支予算書(損益ベース)内訳表 令和4年4月1日から令和5年3月31日

	備考																																																
	<b>√</b> □		000	19,000		3, 300, 000	3, 300, 000	112, 329, 000	44,830,000	3, 154, 000	46, £31, 333	000,040,000	9, 220, 000	2, 200, 000	285,	984, 996, 000	975, 128, 000	3 448 000	0, 110, 000	6, 420, 000	23,000	23,000	1, 100, 667, 000		1,096,734,000	6, 447, 000	56, 807, 000	11, 416, 000	995,000	, 100	201,	000,	, 160,	223,	40, 394, 000	94, 210, 000	7,840,000	14,845,000	14, 412, 000	9 997 000	1, 501, 000	1, 501, 000	13, 166, 000	3, 808, 000	594,000	4,924,000	3, 980, 000	3, 940, 000	
日本版   日	消失到							_	_	_					_						_	_																											
	法人会計		700	4,000	4,000	1,650,000	1,650,000	0	0	0					0	6, 814, 000	6, 814, 000	0		0 000	2,000	2,000	8, 470, 000		ı	ı	I	I	ı				l	1	I	1	ı	l	I	ı	ı		1	I	l	l	I	I	
	中心			9,000	9,000	0	0	47, 030, 000	44,830,000				000 006 6		0	5, 453, 000	5, 453, 000	0		0 00	9,000	9,000	52, 501, 000		12,062,000	573,000	5,050,000	1, 016, 000	82 000	, ,		0 (	0	0	19,000	1, 423, 000	687,000	0	849.000	102,000	102,000	40,000	933, 000	250,000	53,000	309,000	16,000	216,000	
行	井運			0 0	0	0	0	0	0	C				0	0	0	0			0 (	0	0	0		0	0	0	С				0 (	0	0	0	0	0	0	С			O (	0	0	0	0	0	0	
収益事業等会計	乗馬施設活性 化支援事業		0	8,000	8, 000	0	0	2, 200, 000	0	0			000 006 6	200, 00	0	2,045,000	2,045,000	· · · · · · ·		0 000	8,000	8,000	4, 261, 000		3, 634, 000	215,000	1,894,000	381,000	31 000	000,10		0 0	0	0	7,000	106,000	73,000	0	318,000	38,000	18,000	10,000	41,000	94,000	20,000	116,000	6,000	112,000	
	乗馬施設等 登録事業		-	1,000	1,000 1	0	0	44, 830, 000	44, 830, 000	0				0 0	0	3, 408, 000	3, 408, 000	0		0 00	1,000	1,000	48, 240, 000		8, 428, 000	358,000	3, 156, 000	635,000	51,000	000,10		0 (	0	0	12,000	1, 317, 000	614,000	0	531,000	64 000	30,000	000, 000	892, 000	156,000	33,000	193,000	10,000	104,000	
<b>  大学計</b>	中心		000	6,000	6,000	1,650,000	1,650,000	65, 299, 000	0	3 154 000	46,640,000	000,040,000	9, 440, 000	L	6, 285, 000	972, 729, 000	962, 861, 000	3 448 000	7, 440, 000	0, 420, 000	12,000	12,000	1, 039, 696, 000		1,084,672,000	5,874,000	51, 757, 000	10, 400, 000	843 000	50 981 000	30, 201, 000	42,000,000	679, 760, 000	38, 223, 000	40, 375, 000	92, 787, 000	7, 153, 000	14,845,000	13, 563, 000	9 195 000	1 453 000	1,455,000	12, 233, 000	3, 558, 000	541,000	4,615,000	3,964,000	724.	
公益目的事業会計	乗馬普及事業			6,000	0,000	1,650,000	1,650,000	65, 299, 000	0	3 154 000	46, £3.1, 000	000,040,000	9, 220, 000	0 00	6, 285, 000	972, 729, 000	962, 861, 000	3 448 000	0, 440, 000	6, 420, 000	12,000	12,000	1, 039, 696, 000		1, 084, 672, 000	5,874,000	51, 757, 000	10, 400, 000	843 000	50 901 000	201,	U0U,			40, 375, 000	92, 787, 000	7, 153, 000	14,845,000	13, 563, 000	9 195 000	1 453 000	1, 455, 000		3, 558, 000	541,000	4, 615, 000	3, 964, 000	3, 724, 000	
	を	1 一般正味財産増減の部	(1) <b>精沌支</b> 4 有心彩排油田末	本尺域角闸压钉 森砂路~8.电弧电台本	作に国金/文明やJの文句 が	以取人会金及び公費	入会金及び会員会費	事業収益	登録料収益	指道者答格烈定試驗約収益	まする は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	大学大品野人工文具作品が一番	》公在女自 旧会年世教用考验[5 字	古河に 事免 十数左爻 削ぎを置けい プレージを という	質や認定アキイト収金	受取補助金等	乗馬普及事業助成 <b>会</b>	大型 化压力 化二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	11年第二年第二十年末的19年十七年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 1	くさーン核型へつ刃及倒せばは	雑収値	受取利息収益	経常収益計	(2) 経常費用	貴	役員報酬	給与手当	<b>社会保</b> 險對	対ででです   対象に   回子   単	正子子   文字に 神子 帯 一	あこうろうの(神型)はまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	米丘形不隔面 计备均衡 化压力能力 有手指某事	果馬施設整備補助費 #11,000 # # # # # # # # # # # # # # # # # #	競技会奨励費及び賃品費	会議及び講習会費	旅費交通費	従事員賃金	広報費	備品及び借料費	海角を計画である。	多百 <b>万</b> 之		図書印刷製本費	通信費	光熱及び水料	役務費	租税公課	事では、	

	公益目的事業会計	事業会計		収益事業等会計	4K			147.147.141		
科目	乗馬普及事業	小計	乗馬施設等 登録事業	乗馬施設活性 化支援事業	<b>米</b>	小計	法人会計	消去	和	備考
退職給付費用	4, 269, 000	4, 269, 000	260,000	156,000	0	416,000	I		4, 685, 000	
賞与引当金繰入	199,000	199,000	12,000	8,000	0	20,000	1		219,000	
留理費				l			15, 361, 000		15, 361, 000	
役員報酬	1	I	l	l		l	716,000		716,	
然や手出	1	I	I	I	l	I	6, 312, 000		312,	
社分保険が「ご」	l						1, 268, 000		1,268,000	
福利厚生費	1	1	I	1			103,000		103, 000	
会議及び講習会費	I	I	I	I	I	I	208,000		208,000	
旅費交通費	I	I	I	I	I	I	1,679,000		1,679,000	
従事員賃金	1	I	I	1		I	246,000		246,000	
備品及び借料費		I	I	I		I	1,061,000		1,061,000	
減価償却費	I	I	I	I	I	I	35,000		35,000	
消耗品費	I	I	I	I		I	60,000		60,000	
図書印刷製本書	I	I	I	I	I	I	137, 000		137, 000	
国信号	I	I	I	I		I	312,000		312,000	
上, 子数 及 7 K 大 彩	1	I	I	ı			66,000		66,000	
公務事	I	I	I	ı		I	386,000		386,000	
大沙克田部公司	I	ı	ı	ı		I	20,000		20,000	
日代が来							(		, 200	
雑貨 計量がごせ こ	1	I	I	I	I	I	2, 208, 000		2, 208, 000	
		l	I	l		l	520,000		520, 000	
資与引当金漆人										
<b>発育費用計</b>	1,084,672,000	1,084,672,000	- 1	3, 634, 000	0	12, 062, 000	15, 361, 000		1, 112, 095, 000	
評価損益等調整前当期経常増減額	-44,976,000	-44,976,000	39, 812, 000	627,000	0	40, 439, 000	-6,891,000		-11,428,000	
基本財産評価損益	0	0	0	0	0	0	0		0	
特定資産評価損益	0	0	0	0	0	0	0		0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0		0	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0		0	
当期経常増減額	-44, 976, 000	-44, 976, 000	39, 812, 000	627,000	0	40, 439, 000	-6, 891, 000		-11, 428, 000	
2. 経常外増減の部										
(1) 絳常外収描										
<b>稚常外収益計</b>	0	0	0	0	0	0	0		0	
(2) 経常外費用										
<b>卷寫外費用計</b>	0	0	0	0	0	0	0		0	
当期栓吊外增減額ルク計時軽	0	0	- 1		0	0	0		0	
<b>有別門寮町鑑</b> 会者 4十二二十二二十二	38, 000, 000	38, 000, 000	-38, 000, 000	-1, 100, 000	0	-39, 100, 000	1, 100, 000		0	
11. 11. 11. 11. 11. 11. 11. 11. 11. 11.	-6, 976, 000	-6, 976, 000	•	-473,000	0	1, 339, 000	-5, 791, 000		-11, 428, 000	
一般正味財産期首残高	8,000,000	8, 000, 000		44, 000, 000	0	184, 000, 000	000,		000,	
一般正味財産期末残局	1,024,000	1,024,000	141, 812, 000	43, 527, 000	0	185, 339, 000	32, 209, 000		218, 572, 000	
1 指定正味財産増減の部分に対応に対しています。	(	(	(	(	(	(	(		(	
当男后足上宋时 医增减线 医七二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	0 0	0 0	0 0	0 0	0	0	0		0	
指定止味財産期首残局	0	0	0	0	0	0	0		0	
指定止味財産期末残局	0	0	0	0	0	0	0		0	
<b>加 正味財産期末残高</b>	1,024,000	1,024,000	141, 812, 000	43, 527, 000	0	185, 339, 000	32, 209, 000		218, 572, 000	